

令和5年度吹田市立総合福祉会館 生活介護事業自己評価

法人名 (株)オールケアライフ

評価対象期間 令和5年10月1日～令和6年3月31日

評価に関する例

A:達成できた B:概ね達成できた C:あまり達成できなかった

I 管理運営体制	評価項目		記載者 (株)オールケアライフ 小田 成都子 確認者 館長 保木本 薫 自己評価設定(令和5年10月1日)	記載者 (株)オールケアライフ 小田 成都子 確認者 館長 保木本 薫 自己評価達成状況(令和6年3月31日)	記載者 館長代理 佐納 典子 確認者 館長 保木本 薫 吹田市の評価(令和6年10月1日)
	事業運営の組織的・計画的な実施	事業運営の組織的・計画的な実施	評価設定	事業者の評価	市の評価
1 計画	事業運営の組織的・計画的な実施	利用者のニーズに応じた適切な支援の提供と支援の質の向上を計画的に行います。また、理念・方針に沿った事業運営を行います。	A	令和5年度事業計画に沿って、「心で動く」の理念に沿い、支援の充実を図った。また、「フットワーク軽く、心も軽く・頭も柔軟に」の理念に沿い、人材育成を行うことができた。	A
2 人材育成	福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画と実施	職員体制を確保するとともに、計画的な人材育成に取り組めます。	B	相互理解を深め、共通認識を持つことでスタッフの働きやすさを高めました。スタッフの人格向上にも向き合い福祉のプロを育成する。一方でスタッフの定着化については課題が残りました。今後重点的に取り組みます。	B
3 研修	職員の知識と技術の向上に関する計画の策定と実施	従業員に研修機会等の提供を行い、知識と技術の向上に努めます。	A	毎月の全体研修で危険予測トレーニング、安全運転講習、医療的ケア研修(吸引器等の物品の取り扱い)を行いました。利用者ケース会議を行い、個人の特性に沿った介助方法についても検討会を行いました。	A
4 個人情報	個人情報の適切な管理と、職員等への指導	個人情報の記載された書類・USB等は一括管理し、外部に持ち出さないように努めます。	A	パスワード管理を適切に行い、またUSBについても利用しないなどの取り決めを遵守し、個人情報の適切な管理に努めました。写真等の掲載においても必ず同意を頂いた上で行っています。	A
5 文書管理	利用者の個別支援や福祉サービスの実施状況が適切に記録され、職員間で共有されている。	個別支援計画のもと、日々の支援記録を職員間で共有し、必要な支援の方向性を考えます。	A	日々の支援記録を職員間で共有し、市へ提出しました。利用者の状態にあわせ職員間で共有し、支援を行いました。	A
6 事務報告等	事務報告を適切に行う。	生活介護事業に係る業務報告書等を適切に、遅滞なく市へ提出します。	B	月々の定例会を通じて事務報告を適切に行いました。また、請求に係る書類や給食・入浴に係る報告、収支報告書を適切に提出しました。	B
7 安全なサービス	安心・安全なサービスを提供するためのリスクマネジメント	事故、苦情、緊急対応マニュアルの整備を進め、ヒヤリハットについて、職員間で共有します。	A	事故、苦情、緊急対応マニュアルの整備を行いました。また、安全衛生管理委員を置き、事故報告、ヒヤリハットの共有及び検証を実施しました。	A
					令和5年度事業計画に従い、利用者目線に立った支援ができており、評価できる。
					医療ケア者等、利用者に合った支援が求められるため、必要な福祉人材の確保に可能な限り手を尽くすこと。また、欠員が出た場合は直ちに人員配置を必ず行うこと。
					事業グループ全体でスキル向上を図るため、毎月テーマを設けて、計画的に研修を行っており、評価できる。
					パスワード管理及び外部外付け媒体の使用を禁じるなど、事業所として、個人情報の適切な管理を行っており、評価できる。
					個別支援計画を適切に実施し、定例会等を通じ、利用者の支援経過を市へ報告しており、評価できる。
					提出書類は適切に提出されているが、一部において市側の催促を受けるものがあった。書類等の提出が遅れる場合は事前に市側と十分に調整を行うこと。
					リスクマネジメントに係るマニュアルが整備されており、また定例会等を通じ事故報告・ヒヤリハットの共有、検証ができており、評価できる。

令和5年度吹田市立総合福祉会館 生活介護事業自己評価

法人名 (株)オールケアライフ

評価対象期間 令和5年10月1日～令和6年3月31日

評価に関する例

A:達成できた B:概ね達成できた C:あまり達成できなかった

	評価項目	記載者 (株)オールケアライフ 小田 成都子 確認者 館長 保木本 薫 自己評価設定(令和5年10月1日)	記載者 (株)オールケアライフ 小田 成都子 確認者 館長 保木本 薫 自己評価達成状況(令和6年3月31日)	記載者 館長代理 佐納 典子 確認者 館長 保木本 薫 吹田市の評価(令和6年10月1日)		
		評価設定	事業者の評価	市の評価		
1 管理運営体制	8 緊急対応	災害時における利用者の安全確保と組織的な体制	災害時の連絡網、体制について書面でまとめます。	災害時における連絡体制、連絡網について、書面にてまとめ、職員の変更があると適宜更新を行いました。また、3月14日に消防訓練に参加し、避難の手順を確認しました。	A	連絡体制、連絡網を適切に更新している。消防訓練を行っており、評価できる。
	9 連携	他関係機関との連携体制の構築と実施	利用者の状況に合わせて、相談支援やショートステイの事業所と連携を深め、より良い支援を行います。	利用者家族の状況に合わせ、相談支援センターやショートステイ先と連携して、情報共有を行い支援しました。	A	利用者の服薬管理や身体の状態等について相談支援センターや他事業所と連携しており、評価できる。
2 事業運営及びサービスの提供	1 健康	利用者の心身の健康の維持・増進のための支援	看護師が専門的な見地から、利用者の個々の健康維持・増進のための支援を行います。また嘱託医へ適宜相談を行い、適切な支援に努めます。	高度の医療的ケアを必要とする利用者への対応を看護職員が担い、生活支援員と連携を行いました。嘔吐物処理や感染予防対策の研修を行ったほか、新型コロナウイルス感染症が蔓延しないよう関係機関より指導頂く事ができました。	A	看護師職員を中心に、利用者の健康維持に努めており、また感染予防の研修や、関係機関と適宜連携を取っており、評価できる。
	2 利用者ニーズ	利用者のニーズに応じた活動や日常生活の充実のための支援	利用者及びご家族の要望に沿った取り組みを行います。	個別支援計画を作成するため、モニタリングや担当者会議を行い、利用者及びご家族が望む生活の充実が図れるよう意見を聞き、支援計画の見直しも行いました。	A	利用者家族のニーズや意見を聞き、支援計画の調整を行っており、評価できる。
	3 利用者満足度	利用者満足度の向上を目的とした取り組みを行う。	利用者及びご家族の要望をきいて、計画します。季節のイベント等を企画します。	新型コロナウイルス感染症防止のため、大きなイベントであるクリスマス会やお祭りは小規模となりましたが、日中活動としてハロウィン、秋の収穫祭、初詣、節分等の取り組みの中で、利用者喜んで頂けました。社会参加としては、交通機関を利用した事業所巡りや、ボランティアの方とイベントに参加しました。	B	感染防止のため限定的ではあったが、季節に合わせた行事等を行い評価できる。今後は感染防止を十分に図った上で、利用者等のニーズに即した企画を行うこと。
	4 利用者対応	苦情、要望に対し迅速かつ適切に対応	利用者及びご家族からの苦情には速やかに対応し、市へ報告を行います。	苦情については苦情対応マニュアル、苦情処理・相談記録を適宜更新し、案件があれば速やかに対応し、定例会等で市へ報告をすることとしています。 なお、今年度については、利用者及びご家族からの苦情はありませんでした。	A	苦情や要望について、定例会等を通じ市へ報告することとしている。また、利用者及びご家族に寄り添った対応ができており、評価できる。
	5 コンプライアンス	提供する福祉サービスの実施についての利用者説明	福祉サービスの実施及び利用者負担の変更にあたっては、書面にて利用者及びご家族に説明を行います。	福祉サービスの実施に変更等が生じた場合、送迎時に利用者家族へ直接説明を行い、また日頃より連絡ノート等を用いて適切な連絡体制を取りました。	A	利用者への説明は連絡ノート等を使い、細やかな対応ができています。また書面等でもサービスに係る内容について説明ができていたため評価できる。